

教育文化会館大師分館消防用設備保守点検業務委託仕様書

1 履行場所

教育文化会館大師分館 （川崎市川崎区大師駅前 1－1－5）

2 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日まで

3 業務内容

受託者は、消防法第 17 条の 3 の 3 及び消防法施行規則第 31 条の 6（以下「法令」）規定に基づき、『別紙 1 消防用設備一覧及び点検項目』に掲げる消防設備について、有資格者による以下の保守点検を行い、常に良好な機能を保持するよう努める。

（1）外観点検

消防用設備の適正な配置、損傷等の有無、その他、主として外観から判別できる事項を消防設備の種類に応じ、消防庁告示で定める基準に従って確認する。

（2）機能点検

消防用設備の機能について、外観から、又は簡易な操作により判別できる事項を消防用設備の種類に応じ、消防庁告示で定める基準に従って確認する。

（3）総合点検

消防用設備の全部、もしくは一部を作動させ、又は当該消防設備を使用する事により、当該消防設備の総合的機能を消防用設備の種類に応じ、消防庁告示で定める基準に従って確認する。

4 業務実施回数及び実施時期

（1）外観点検及び機能点検は法令の規定に基づき、年 1 回・ 9 月に実施する。

（2）総合点検は法令の規定に基づき、年 1 回・ 3 月に実施する。

（3）受託者は、消防用設備が故障した場合には、川崎市の要請に基づき速やかに点検修理を行う。

5 行政庁の検査等

行政庁の検査等の場合には、受託者は必要に応じこれに立会い、指摘された事項については、川崎市と受託者で協議のうえ、修理・その他必要な処置を行うものとする。

6 履行に必要な消耗品等の負担

- (1) 法令の規定に基づく点検に必要な消耗品は、受託者の負担とする。
- (2) 使用上、又は部品の寿命によって故障した場合の補修部品の取替については、川崎市の負担とする。

7 報告書の提出

受託者は、保守点検完了ごとに法令で定められた点検報告書を作成し、速やかに川崎市に提出し、検査を受けなければならない。

なお、法令で定められた点検報告書については、受託者の責任において届出るものとする。

8 委託料の支払い

川崎市は、定期保守点検完了ごとに受託者より請求のあった日から30日以内に、別紙『支払金額内訳書』のとおり分割して委託料を支払う。

9 その他

本仕様書に記載のない事項及び疑義を生じたときは、川崎市と受託者で協議のうえ決定する。

消防用設備等一覧及び点検項目

1 消防設備

(1) 自動火災消火設備 外観点検、機能点検及び総合点検

・受信機 P 型 1 級	1 台
・表示機 L 1 5	1 台
・差動式スポット型感知器	3 4 個
・定温式スポット型感知器	3 個
・煙感知器	4 個
・発信機、非常灯	2 個
・常用電源 (交流電源)	1 式
・予備電源	1 式
・配線点検	1 式

(2) 防火・防排煙設備 外観点検、機能点検及び総合点検

・防火扉	1 個
・煙感知器	2 個

(3) 避難口誘導灯設備 外観点検、機能点検及び総合点検

・誘導灯 大型	4 台
・誘導灯 小型	8 台

(4) 消火器具設備 外観点検、機能点検及び総合点検

・消火器 ABC 1 0 型	1 1 本
・放射充填	1 本

(5) 非常用放送設備 外観点検、機能点検及び総合点検

・壁掛型非常業務放送設備	
・型名 EM-K 1 5 0 シリーズ	